

令和 6 年度第 2 回理事会開催

当協会令和 6 年度第 2 回理事会が去る 10 月 31 日、KKR ホテル東京において開催された。福島会長があいさつを行った後、議長に就任して審議が行われた結果、上程された各議案はすべて原案通り承認された。

第 1 号議案『令和 6 年度上半期業務報告、収支計算報告』では、(1) 東京港における 6 年度上半期の輸入貨物の取扱数量は 1,007 千トン（検査・重量ベース）、前年同期比 12.9%の増加であった。本船貨物では、果実の主力であるバナナが前年同期比 9.1%の減、パイナップルは 14.8%の減、キーウィフルーツは 18.0%の増、かんきつ類の輸入は今期も無かった。本船コムギは 31.5%の増加となった。一方、コンテナ貨物は 4,744 本増加し、39,321 本だった。穀類ではコメが 906 本増加、モルトも 432 本増加し、豆類ではダイズが 102 本減少、穀類・豆類全体で、1,413 本増加した。乾牧草はチモシーヘイ 913 本増加、アルファルファヘイ 506 本増加で、全体で 1,648 本増加した。飼料用ワタミが 450 本増加、アルファルファヘイキューブ・ペレットも 110 本増加した。嗜好香辛・葉染料等は、タバコ 149 本減少、漢方薬 89 本減少で、全体で 245 本減少した。野菜類は前年同期比で 112.5%で、755 本増加の 6,816 本であった。主力のタマネギが 357 本増加の 2,593 本、カボチャが 171 本増加した。果実は全体で 696 本の増加となった。かんきつ類は 120 本減少したが、バナナが 556 本増加、パイナップル 129 本増加、リンゴが 128 本増加した。横浜港からの荷受消毒立会件数が 23 件減少し 178 件であった。輸出用木材こん包材消毒証明件数は 865 件で、前年同期から 104 件増加した。

(2) 平成 25 年 6 月から賦課金、立会料の減額率を 20%にした減額請求措置を、令和 3 年 6 月 1 日検査分から減額率を 10%に変更した。本年度の上半期の同収入は 8,539 万円（減額の金額 930 万円）と前年同期比 11.0%増で、通年予算の 56.6%となった。(3) 広報活動では、定期的に配信される「東京植検だより」や植物防疫所、全植検協の機関誌をはじめ、関連のポスターやパンフレットなどを配布したほか、様々な検疫情報、現場情報をホームページ等により広く関係者に提供した。また、日頃各地から寄せられる問い合わせ、相談などに適切に対応に対応するなど東京港における植物検疫業務等が円滑、的確、かつ安全に推進されるよう努めた。(4) 関係当局及び諸団体との連絡・協調を図り、特に全植検協については、福島会長が理事・副会長として、また事務局においても各種委員として、同協会の運営に協力した。

また農水省植物防疫課も参加する「植物検疫関係団体連絡会」において検疫現場の状況を報告し、問題点を提起するとともに、検疫情報を直接入手した。さらに、近在協会とも定期的に連絡会を開き、意見・情報交換などに努めた。

一など上半期の主要事項と収支状況について報告が行われ、本案は異議無く承認された。

第 2 号議案「賦課金等の減額請求措置の令和 7 年度の取扱いについて」(1) 平成 15 年 6 月から賦課金・立会料（輸出こん包材の消毒証明料を除く。）の一律「20%」減額請求を 6 年間行った。しかし、年度繰越額が適切な水準に近づいてきたため、平成 21 年度から減額率を「10%」に変更し、平成 25 年度から減額率を「20%」に変更した。再び年度繰越額が適切な水準に近付き、また、今後の輸入量の減少が想定されることから令和 3 年 6 月から減額率を「10%」に変更した。本措置の次年度における取扱いについては、毎年、年度前半の業務量及び収支状況などを勘案して、秋の定例理事会において協議することとされている。(2) 上半期の取扱業務量は前年同期比 12.9%増加だった。上半期の賦課金等収入は、本船貨物は 8.7%減、主力のコンテナ貨物が前年より 12.7%増加して、通年予算に対して 56.6%の達成率となっている。一方、フレートの高騰、極端な円安、産地価格の高騰、国産への転換奨励等々、輸入植物に対する逆風は強く、輸入貨物は全国的に減少傾向にある品目は多い。乾牧草等主要品目は全国ベースで年 10%ずつ減少しているし、酪農家の減少を考えてもこの傾向は続くと思われる。主要な取り扱い業者に聞き取りを行ったところ、いずれも減少傾向は続き回復は望めないとの見解だった。東京港で貨物が増えたのは豪州産が干ばつや火災で輸入が極端に減り、代替品として北米産が一時的に東京港に集中している可能性があるとのことだった。(3) 以上を踏まえると、今年度上期の増加は一時的なものである可能性が高く、今後は輸入量の減少が続くと思われる。一方で支出については人件費を始め、IT 関連の経費等も増加することが想定される。(4) 今年度については、上期の状態が続くことなく、下期が昨年並みの輸入量だったとしても、賦課金収入は当初予算より 1 千万円ほど増加すると思われる。支出についても特段のことが無い限り、予備費を含め数百万円程度の節減が可能と考える。その場合、最終的な決算は当初の 1 8 0 0 万円の赤字から、2 0 0 万円程度の黒字になることも想定され、その場合

の繰越剰余金は152百万円程度が見込まれる。

(5) しかしながら今年度上期の状況、そして今後の輸入貨物の減少と経費の増大を考えると、将来の安定的な協会運営のために、減額措置の一時的な停止を提案したい。

(6) 協会運営の更なる効率化や、経費の削減を進めた上で、将来的に安定的な協会運営が可能と判断した際に、また減額措置を再開したいと考える。

一本案については、下期の状況を見て、年度末収支の数字が確定した後で再度審議することとされた。

第3号議案「小野専務理事の定年延長について」

(1) 小野専務理事は本年12月に67歳となり、当協会の「常勤役員定年(65歳)」こえているが、後任がないため令和5年度第2回理事会で定年を1年延長することが承認された。引き続き、後任候補の選任及び折衝は会長に一任され、その後適切な後任を検討したが、候補者はいなかった。(2) 小野専務理事の定年をさらに1年延長することとしたい。

一本案について全員異議無く承認された。

その他として事務局から、令和7年賀詞交歓会について、1月10日(金)12時30分から当KKRホテル東京で開催予定。後日改めて案内をお送りする旨連絡された。

植物検疫くん蒸安全旬間を実施

11月1日から11月10日の期間で令和6年度植物検疫くん蒸安全旬間を実施した。本旬間は期間中に植物検疫くん蒸に携わるくん蒸施設、防除業者、当協会の三者で自主的な安全点検期間として実施しているものである。

当協会では安全旬間に先立ち、安全旬間期間中の啓発用ポスターの関係者への配布と掲示の依頼、協会職員が輸送途上のコンテナで消毒処理された検査対象貨物の残留ガスの安全確認をする際に使用する北川式検知器具の点検・メンテナンスを業者に依頼し、保護具着用管理責任者が使用するガスマスクの点検とガス吸収缶の交換を行った。

植物防疫所が指定するくん蒸施設については安全旬間期間中に協会職員と防除業者で訪問し、施設の安全対策やくん蒸実施時の施設内での周知方法の聞き取り、担当者の変更の有無や設備の不具合、設備工事の予定確認を行った。また、令和6年3月25日に一部改正された「植物検疫くん蒸における危害防止対策要綱」において、燐化水素の倉庫くん蒸での抑制濃度が0.3ppmから0.05ppmに変更になったことへの確認を行い、植物検疫くん蒸の

安全な実施における関係者への協力をお願いした。

施設訪問に際しては、横浜植物防疫所東京支所の防疫官に全ての施設に同伴していただき、オブザーバーとして安全対策に関するアドバイス等、ご協力いただいた。また、くん蒸庫の3年指定の更新手続きが本年度末に行われるため、その手続き等の説明も併せて行っていただいた。

安全旬間終了後に防除業者と協会で総括を行い、旬間期間中に点検した内容や施設訪問時に実施したアドバイス等を共有し、安全対策に活かすことを確認した。

今後も植物検疫くん蒸安全旬間を通して、事故の無い検疫くん蒸を実施して頂くよう、関係各社に御協力をお願いしたい。

また、輸入者の皆様におかれましては、検査時の安全のため、コンテナ内で航海途上に貨物のくん蒸を実施されている場合には、事前に書面にて協会へのご連絡をしていただきますようお願い致します。

(業務グループ 大西 洋)

くん蒸安全旬間ポスター図案決まる



(一社)全国植物検疫協会が毎年実施している植物検疫くん蒸安全旬間ポスター図案選考会が去る9月9日にTKP神田駅前ビジネスセンターで開催された。

全植検協の選考委員にくわえて、農水省担当官及びポスター印刷会社のデザイナーにより、全国の植物検疫(防疫)協会、防除業者の職員が応募した103点にのぼる作品について、厳正な審査が行われた。

その結果、最優秀賞には、当協会・人見職員の作品が選ばれ、例年通り11月1日から10日まで実施される植物検疫くん蒸安全旬間のPR用ポスターとして、全国の関係者に配布されることになった。

なお、当協会からは11点応募し、次の作品が入賞した。

- 最優秀 人見 哲也 (業務グループ)
- 入選 新藤 尋人 (業務グループ)

会員・役員の異動 (令和6年7月1日～令和6年9月30日)

☆入会会員

7月11日(株) シン・メソッド [商社] 〒108-0071 港区白金台5-2-5

☎ 03 (5422) 9007

9月1日(有) ドリームヒル [商社] 〒080-1406 北海道河東郡上士幌町字居辺東7-277 ☎ 01564 (9) 2055

☆退会会員

7月26日(株) ノルレエイク・インターナショナル

7月31日 PL ネットワークサービス(株)

👁️ タイム eye 📷

業務グループ 台湾産ドラゴンフルーツが初輸入

青海1号に7月8日入港のOOCL JAKARTA号で台湾産ヒロセレウス・ポリリズス（ドラゴンフルーツの赤肉腫）生果実が初輸入された。こん包状態等の確認後検査が行われ、結果は合格であった。

台湾産ヒロセレウス属生果実は、ウリミバエ及びミカンコミバエ群種の寄主植物であるため輸入禁止品であったが、白肉腫であるヒロセレウス・ウンダーツスが平成22年4月16日付けで蒸熱処理等をしたうえで条件付き輸入解禁された。その後、令和6年6月5日付けで植物防疫法施行規則の一部改正等により、新たに台湾産のドラゴンフルーツの一種であるヒロセレウス・コスタリケンシス及びヒロセレウス・ポリリズス並びにこれらの交雑種に限り、生果実の輸入が条件付きで追加解禁された。



この度輸入解禁されたヒロセレウス・ウンダーツス以外のヒロセレウス属生果実の主な条件は、蒸熱施設において、庫内温度を摂氏48.0度以上として、飽和蒸気により、136分間消毒された後、引き続き、庫内温度を摂氏48.0度以上として、生果実の中心部の温度が摂氏46.5度に達した後、その温度以上で30分間保持されること。また、各こん包、又は束ねたこん包に輸出植物検査が終了している旨、仕向地が日本である旨の表示がされていることなどとなっている。

ドラゴンフルーツまたはピタヤ（PITAYA）は、サボテン科ヒモサボテン属のサンカクサボテンの果実を指す。中国名は火龍果。メキシコ及び中南米原産で、果皮が竜のウロコのように見えるため、「ドラゴンフルーツ」と呼ばれている。

果実は表面にサボテン科果実特有の葉のような緑色の突起物があり、光沢のある鮮やかな赤色が代表的である。果肉はゼリー状で豊富な果汁を含んでおり、一面に胡麻粒のような黒い種子があり、独特の食感が楽しめる。デザートとして冷やしてそのまま食したり、野菜と合わせてサラダの具材として使用されている。

（阿部 将之）

業務グループ スペイン産オリーブ大型苗木輸入

令和6年5月に大井埠頭寄港“BANGKOK BRIDGE”号積載のスペイン産オリーブ苗木が輸入され、検査結果は合格となった。

スペイン産オリーブの苗木の輸入は、植物防疫法施行規則により、輸出国にて栽培地検査（別表一の二）と検疫措置（別表二の二）が必要となり、輸出国政府機関により適切と認められる方法による検査の結果、各対象病害虫に侵されていないことを植物検疫証明書に追記が必要となっている。栽培地検査、検疫措置の対象となる病害虫は以下の通り

○栽培地検査（別表一の二）

9項 *Xiphinema index*（ブドウオオハリセンチュウ）

○検疫措置（別表二の二）

14項 *Eutypa lata*

17項 *Phytophthora ramorum*

23項 *Xylella fastidiosa*

また、輸入に際しては、根回りの土壌の付着が無い様に洗浄することや、同国産オリーブ果実は、輸入禁止害虫であるチチュウカイミバエの寄主植物のため輸入禁止品の対象植物となっているため注意が必要である。



苗木の輸入検査は、コンテナ内床面の病害虫の有無を確認するため、貨物の搬出が必要となっている。今回輸入された苗木が大型であったため、検査に必要な抽出本数を搬出するには、フォークリフト、スロープなどの機材の手配、検査品を蔵置する広さの場所が必要となり、コンテナヤード内では搬出入が難しいため、青海地域の保税倉庫の敷地内で検査を行なうこととなった。フォークリフト以外にも車両からコンテナを地面に降ろす大型クレーンが手配され、大掛かりな準備が必要となった。

スペインから東京港まで約30日以上航海日数がかかり、苗木は生植物なため、早急に検疫関係を済ませ通関する必要がある。輸出国にて栽培地検査や検疫措置などの検疫証明書の追記不備の有無の確認や、大型苗木の場合は検査場所や検査方法、不合格時の注意点など、輸入計画を立てる際に事前に植物防疫所、検疫協会に相談することをお勧めしたい。

（高木 光邦）

東京港輸入植物品目別統計表

(4月～9月累計)

品目	単位	コンテナ詰			在来船積		合計	
		本数	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量
栽植用植物	個	40	1,038,359	19,400	0	0	1,038,359	19,400
栽植用球根類	個	63	13,150,595	0	0	0	13,150,595	0
アマリリス	個	0	0	0	0	0	0	0
チューリップ	個	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	個	61	12,061,895	0	0	0	12,061,895	0
栽植用種子	kg	152	1,474,267	1	0	0	1,474,267	1
草花・樹木	kg	2	20,698	0	0	0	20,698	0
野菜	kg	81	358,097	1	0	0	358,097	1
普通・特用作物	kg	13	228,097	0	0	0	228,097	0
牧草・芝草	kg	45	804,554	0	0	0	804,554	0
切花、切葉、切枝	個	1,364	197,221,814	897,004	0	0	197,221,814	897,004
アンズリューム	個	0	63,532	4,888	0	0	63,532	4,888
オンシジューム	個	59	2,670,250	37,650	0	0	2,670,250	37,650
キク	個	839	85,871,466	90,560	0	0	85,871,466	90,560
シダ(レザーフアン)	個	62	9,403,400	0	0	0	9,403,400	0
果実	kg	4,285	71,448,736	4,976,657	160,586,629	109,824,647	232,035,365	114,801,304
オレンジ	kg	401	7,177,529	17,451	0	0	7,177,529	17,451
グレープフルーツ	kg	60	1,032,386	0	0	0	1,032,386	0
タンジェロ(ミネオラ)	kg	29	619,762	0	0	0	619,762	0
レモン	kg	141	2,776,985	17,685	0	0	2,776,985	17,685
パイナップル	kg	623	9,463,522	2,335,226	12,390,479	11,634,094	21,854,001	13,969,320
バナナ	kg	1,256	20,954,817	2,575,262	119,247,946	98,190,553	140,202,763	100,765,815
マンゴウ	kg	23	115,721	0	0	0	115,721	0
キーウイフルーツ	kg	537	9,658,029	0	28,931,704	0	38,589,733	0
ブドウ	kg	106	1,566,902	0	0	0	1,566,902	0
野菜	kg	6,816	138,807,203	1,141,436	1,296	0	138,808,499	1,141,436
カボチャ	kg	236	5,749,259	1,110,375	0	0	5,749,259	1,110,375
サヤエンドウ(キヌサヤ)	kg	4	62,593	0	0	0	62,593	0
パプリカ	kg	24	209,190	0	0	0	209,190	0
メロン(ハミウリ含む)	kg	46	823,784	0	0	0	823,784	0
キャベツ	kg	70	1,838,405	0	0	0	1,838,405	0
セロリ	kg	9	140,625	31,061	0	0	140,625	31,061
ナガネギ	kg	993	14,633,465	0	0	0	14,633,465	0
ニンニクの芽	kg	15	689,462	0	0	0	689,462	0
ハクサイ	kg	0	65,490	0	0	0	65,490	0
ブロッコリー	kg	64	761,669	0	0	0	761,669	0
レタス	kg	28	337,306	0	0	0	337,306	0
タマネギ	kg	2,593	63,311,164	0	0	0	63,311,164	0
ニンニク	kg	334	6,329,483	0	0	0	6,329,483	0
アスパラガス	kg	0	324	0	0	0	324	0
ゴボウ	kg	139	3,707,480	0	0	0	3,707,480	0
サトイモ	kg	9	220,630	0	0	0	220,630	0
ショウガ	kg	139	3,179,334	0	0	0	3,179,334	0
ニンジン	kg	811	20,894,710	0	0	0	20,894,710	0
こく類	kg	5,090	106,050,108	160,442	66,348,482	0	172,398,590	160,442
オオムギ	kg	1	20,803	0	0	0	20,803	0
エンバク	kg	182	4,140,515	0	0	0	4,140,515	0
コムギ	kg	136	2,753,966	0	66,348,482	0	69,102,448	0
コメ	kg	1,240	24,153,142	0	0	0	24,153,142	0
ソバ	kg	225	4,548,546	40,442	0	0	4,548,546	40,442
トウモロコシ	kg	186	3,381,366	0	0	0	3,381,366	0
モルト	kg	3,000	64,822,340	0	0	0	64,822,340	0
まめ類	kg	4,843	96,807,693	116,322	0	0	96,807,693	116,322
エンドウ	kg	46	1,007,269	0	0	0	1,007,269	0
ダイズ	kg	4,504	90,010,402	116,322	0	0	90,010,402	116,322
ラッカセイ	kg	129	2,722,288	0	0	0	2,722,288	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	2,445	38,855,759	0	0	0	38,855,759	0
カカオ	kg	10	154,528	0	0	0	154,528	0
コーヒー	kg	27	184,316	0	0	0	184,316	0
タバコ	kg	391	7,119,240	0	0	0	7,119,240	0
アーモンド	kg	650	11,408,034	0	0	0	11,408,034	0
クリ	kg	8	105,818	0	0	0	105,818	0
クルミ	kg	312	5,386,439	0	0	0	5,386,439	0
ポップコーン	kg	264	5,316,703	0	0	0	5,316,703	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	14,219	326,910,117	185	0	0	326,910,117	185
乾燥牧草(ヘイ)	kg	10,680	251,880,418	0	0	0	251,880,418	0
アニマルフィード	kg	13	138,850	19	0	0	138,850	19
アルファルファヘイキューブ・ペレット	kg	637	16,424,555	0	0	0	16,424,555	0
コーンコブミール	kg	25	643,761	0	0	0	643,761	0
飼料用大豆カス、ペレット	kg	259	6,127,932	0	0	0	6,127,932	0
ビートパルプペレット	kg	37	718,427	0	0	0	718,427	0
イネワラ	kg	108	1,677,176	0	0	0	1,677,176	0
ココピート	kg	289	5,466,293	0	0	0	5,466,293	0
ココヤシ園芸資材	kg	27	481,214	163	0	0	481,214	163
ビートモス	kg	703	15,758,942	0	0	0	15,758,942	0
ミズゴケ	kg	23	33,653	0	0	0	33,653	0
タケ	kg	18	266,618	0	0	0	266,618	0
木材	m³	4	52	0	0	0	52	0
** 総合計 **	kg	37,850	780,353,883	6,395,043	226,936,407	109,824,647	1,007,290,290	116,219,690
	個	1,467	211,410,768	916,404	0	0	211,410,768	916,404
	m³	4	52	0	0	0	52	0

(注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含まない。